

5-3 第一専門診療部

消化器科

〔原著論文〕

1. 肥沼幸、新井勝大、田川学、黒田達夫、村島温子、北川道弘、香坂隆夫：胆道閉鎖症術後の妊娠症例の臨床経過とその検討 小児外科 2006；38：1195-1199,2006

〔総説〕

1. 新井勝大：NSAIDs起因性胃粘膜障害 小児内科 2007；39：427-430

〔著書〕(訳著)

1. 新井勝大：消化管の感染症．岩田健太郎監修，WM感染症科コンサルト，メディカル・サイエンス・インターナショナル，2006；88-119

〔学会発表〕

1. 新井勝大：コアシンポジウム 小児IBDの治療戦略 薬物療法から手術療法まで「小児IBDにおけるInfliximab療法」．第33回日本小児栄養消化器肝臓学会，大阪，2006.10.8

2. 福田晃也、笠原群生、横山智至、新井勝大、中川聡、清水直樹、中川温子：門脈血流の逆流・側副血路形成が発症時既に認められた乳児肝炎3例の検討．第35回武蔵野小児肝臓病懇話会，東京，2006.12.5

3. 横山智至、福田晃也、笠原群生、新井勝大、肥沼幸、中川聡、清水直樹、中川温子：小児劇症肝不全4例に対する生体肝移植．第35回武蔵野小児肝臓病懇話会，東京，2006.12.5

4. 福田晃也、笠原群生、横山智至、本名敏郎、黒田達夫、新井勝大、中川聡、清水直樹、中川温子：門脈血流の逆流・巨大なspleno-renal shuntの形成を伴った乳児肝炎の一例．第20回日本小児脾臓研究会，東京，2007.3.3

5. 新井勝大、肥沼幸、中川温子、内山健太郎、道端伸明、永井章：難知性潰瘍性大腸炎としてフォローされていたクローン病患者の2例．第7回日本小児IBD研究会，東京，2007.3.11

6. 内山健太郎、鋤柄小百合、道端伸明、永井章、新井勝大：メサラジンにて悪化を認め、柴苓湯にて緩解導入・維持に成功した潰瘍性大腸炎の一例．第7回日本小児IBD研究会，東京，2007.3.11

循環器科

〔原著論文〕

1. 百々秀心、磯田貴義：小児海外渡航心臓移植の問題点（心臓移植：移植後の治療・フォローアップの問題点）．日本小児循環器学会雑誌 2007；22：639-642

〔総説〕

1. 磯田貴義：心房内血流転換術を行った完全大血管転位の長期予後．先天性心疾患の新しい治療 遠隔期の問題 小児科診療 2007;70:327-333

[著書]

1. 磯田貴義：先天性心疾患の冠動脈造影．土師一夫(編集)，新目でみる循環器病シリーズ，メジカルビュー社，2006；143-153
2. 金子正英：循環器疾患 頻脈・不整脈．五十嵐隆(編集)，小児診療ガイドライン，総合医学社，2006；92-97
3. 磯田貴義：循環器疾患 動脈管開存症．五十嵐隆(編集)，小児診療ガイドライン，総合医学社，2006；102-104
4. 金基成：循環器疾患 ファロー四徴症．五十嵐隆(編集)，小児診療ガイドライン，総合医学社，2006；105-107

[報告書、その他] (研究班報告書、刊行物等)

1. 石澤瞭，磯田貴義：新生児診療施設、地域病院に対するアンケート調査 平成18年度厚生労働科学研究費補助金「新生児重症心疾患に対する予後向上のためのリアルタイム心エコー動画による遠隔診断と新生児心疾患救急医療システム確立に関する臨床研究」，平成18年度分担研究報告書，2006；32-42

[学会発表]

1. 横山晶一郎，進藤考洋，豊田彰史，金子正英，磯田貴義，百々秀心，石澤瞭：新生児期・乳児期発症の心房頻拍の3例(それぞれの特徴と対処)．第42回日本小児循環器学会・学術集会，名古屋，2006.7.15
2. 金子正英，進藤考洋，横山晶一郎，豊田彰史，磯田貴義，百々秀心，石澤瞭，関口昭彦：術後頻脈性不整脈のニフェカレントによるコントロール．第42回日本小児循環器学会・学術集会，名古屋，2006.7.15
3. 磯田貴義，百々秀心，金子正英，豊田彰史，横山晶一郎，進藤考洋，石澤瞭，関口昭彦：傍動脈管部肺動脈狭窄に対する体肺短絡経皮のバルーン血管形成 外科との協同による approach．第42回日本小児循環器学会・学術集会，名古屋，2006.7.15
4. 豊田彰史，進藤考洋，横山晶一郎，金子正英，磯田貴義，百々秀心，石澤瞭：小児の海外渡航心移植症例の検討．第42回日本小児循環器学会・学術集会，名古屋，2006.7.13
5. 進藤考洋，横山晶一郎，豊田彰史，金子正英，磯田貴義，百々秀心，石澤瞭：当院で経験した心筋炎の中期経過の検討．第42回日本小児循環器学会・学術集会，名古屋，2006.7.13
6. 横山晶一郎，金子正英，豊田彰史，進藤考洋，磯田貴義，百々秀心，石澤瞭，竹内功，戸成邦彦，関口昭彦：両大血管右室起始症の根治術後の乳糜胸に対しオクトレオチド持続静注をおこなった1例．第回日本小児科学会・学術集会，金沢，2006.4.21
7. 三科香，高橋重裕，小出直哉，細川真一，塚本桂子，中村知夫，伊藤裕司，金子正英，磯田貴義，百々秀心：シルデナフィルがNO吸入療法離脱に有効であった慢性肺疾患に伴う肺高血圧症の乳児例．第回日本小児科学会・学術集会，金沢，2006.4.21
8. 金基成，金子正英，江竜喜彦，横山晶一郎，進藤考洋，磯田貴義，石澤瞭：フォンタン型手術後成人期患者の医学的、社会的状況．第9回成人先天性心疾患研究会，東京，2007.1.13
9. 金子正英，江竜喜彦，進藤考洋，横山晶一郎，金基成，磯田貴義，石澤瞭，林聡，左合治彦，堀米仁志：胎児期より非持続性心室頻拍を認めた先天性完全房室ブロックの一例．第11

- 回日本小児心電学研究会， 鹿児島， 2006.11.2
10. 磯田貴義，金子正英，江竜喜彦，進藤考洋，横山晶一郎，金基成，石澤瞭： Flipper coilを用いたPDAコイル塞栓術におけるcoil in coil法． 第18回日本Pediatric Interventional Cardiology研究会， 福岡， 2006.1.19
 11. 進藤考洋，磯田貴義，江竜喜彦，横山晶一郎，金基成，金子正英，石澤瞭： 当院におけるフォンタン術後の体静脈、体循環間短絡の発生部位についての検討． 第18回日本Pediatric Interventional Cardiology研究会， 福岡， 2006.1.19
 12. 金基成，江竜喜彦，進藤考洋，横山晶一郎，金子正英，磯田貴義，石澤瞭： 体肺動脈短絡術後のPulmonary coarctationに対するバルーン血管形成術の有用性． 第18回日本Pediatric Interventional Cardiology研究会， 福岡， 2006.1.19
 13. 林聡，左合治彦，湯元康夫，井原規公，種元智洋，野矢三樹，中村知夫，伊藤裕司，金基成，金子正英，磯田貴義，北川道弘，名取道也： Twin-reversed arterial perfusion (TRAP) sequenceのポンプ児に肺動脈弁狭窄を認めた1例． 第13回日本胎児心臓病研究会学術集会，久留米，2007.2.10
 14. 進藤考洋，磯田貴義，横山晶一郎，金基成，豊田彰史，金子正英，石澤瞭： 当院における心筋炎症例の搬送経験-搬送における問題点の検討． 第15回関東小児心筋疾患研究会，東京，2006.10.07
 15. 進藤考洋，磯田貴義，横山晶一郎，金基成，豊田彰史，金子正英，石澤瞭，百々秀心： 治療に難渋している重症拘束型心筋症の一例-ACE阻害剤とプロック使用についての考察-． 第3回東京循環器小児科治療Agora，東京，2006.9.16
 16. 江竜喜彦，進藤考洋，横山晶一郎，金基成，金子正英，磯田貴義，石澤瞭：Fontan 手術後に慢性心不全を呈した2症例． 第4回東京循環器小児科治療Agora，東京，2007.3.3

呼吸器科

【総説】

1. 川崎一輝： 小児の気道異物． 日本気管食道科学会「専門医通信」 2006；32：20-23
2. 菊池信太郎，川崎一輝： 胸腔穿刺，腹腔穿刺． 小児内科 2006；38：883-885
3. 肥沼悟郎： 呼吸管理：経鼻エアウェイ． 小児内科 2006；38：900-903
4. 樋口昌孝： 上気道狭窄の内視鏡診断． 小児科診療 2006；69：1415-1420,2006
5. 肥沼悟郎，川崎一輝： 呼吸器科からみた乳児の呼吸性喘鳴． 小児科診療 2006；69：1461-1466
6. 菊池信太郎，川崎一輝： 呼吸器科からみた小児の遷延性咳嗽． 小児科診療 2006；69：1497-1501
7. 菊池信太郎，川崎一輝： マイコプラズマ感染症．小児疾患の診断治療基準． 小児内科 2006；38(増刊)：346-347
8. 樋口昌孝： 先天性喘鳴．小児疾患の診断治療基準． 小児内科 2006；38(増刊)：442-443
9. 川崎一輝： 気道異物．小児疾患の診断治療基準． 小児内科 2006；38(増刊)：464-465
10. 川崎一輝： 注意すべき小児の長引く咳． 日小児呼吸器会誌 2006；17：180-183
11. 樋口昌孝： 気道上皮の構造と機能． 小児内科 2007；39：8-10
12. 菊池信太郎，川崎一輝： 喉頭の構造・発育・機能． 小児内科 2007；39：87-91

【著書】

1. 川崎一輝： 気管支拡張症．気管狭窄．小児慢性疾患診療マニュアル． 診断と治療社， 2006；164-167
2. 川崎一輝： 先天性喘鳴．今日の小児治療指針．第14版 医学書院， 2006；312-313

[報告書、その他]

[学会発表]

1. 遠藤美紀, 菊池信太郎, 肥沼悟郎, 川崎一輝: 小児気管・気管支異物の診断における胸部X線の吸気・呼気撮影. 第109回日本小児科学会学術集会, 金沢, 2006.4.22
2. 川崎一輝: 小児胸部X線写真の読み方(ランチョンセミナー). 第109回日本小児科学会学術集会 金沢, 2006.4.22
3. 肥沼悟郎, 菊池信太郎, 遠藤美紀, 川崎一輝: 上気道狭窄に対するリンダー経鼻エアウェイの長期使用経験. 第109回日本小児科学会学術集会, 金沢, 2006.4.23
4. 川崎一輝, 肥沼悟郎, 遠藤美紀, 菊池信太郎: 小児病院呼吸器科でみられる慢性咳嗽の実態(共同企画). 第46回日本呼吸器学会, 東京, 2006.6.3
5. 川崎一輝: 小児の慢性咳嗽(パネルディスカッション). 第171回日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会, 東京, 2006.6.17
6. 菊池信太郎, 遠藤美紀, 樋口昌孝, 川崎一輝: Asphyxiating thoracic dystrophyの胸部CT所見. 第42回日本小児放射線学会, 東京, 2006.6.16
7. 川崎一輝: 小児呼吸器疾患における画像診断の問題点(特別講演). 第42回日本小児放射線学会, 東京, 2006.6.16
8. 遠藤美紀, 菊池信太郎, 肥沼悟郎, 川崎一輝: 舌根嚢胞の診断における頸部側面X線写真の有用性. 第42回日本小児放射線学会, 東京, 2006.6.17
9. 川崎一輝, 遠藤美紀, 菊池信太郎, 肥沼悟郎, 樋口昌孝: 舌根嚢胞の診断における内視鏡検査の問題点. 第1回日本小児耳鼻咽喉科学会, 奈良, 2006.6.30
10. Koinuma G, Kawasaki K, Endo M, Kikuchi S: Experience of azathioprine therapy for idiopathic interstitial pneumonia in young infants in Japan. European Respiratory Society's Annual Congress 2006, Munich, 2006.9.3
11. 内藤陽子, 肥沼悟郎, 樋口昌孝, 淵本康史, 星野 健, 森川康英, 田波 穰, 新本 弘: 先天性気管支閉鎖症の胎児MRI画像の経時的変化. 第39回日本小児呼吸器疾患学会, 東京, 2006.11.17
12. 磯部賢諭, 菊池信太郎, 遠藤美紀, 樋口昌孝, 川崎一輝: 血管造影で興味深い所見を呈した肺葉内肺分画症の1例. 第39回日本小児呼吸器疾患学会, 東京, 2006.11.17
13. 樋口昌孝: 閉塞型睡眠時無呼吸による突然死を経験して(シンポジウム). 第39回日本小児呼吸器疾患学会, 東京, 2006.11.17
14. 遠藤美紀, 菊池信太郎, 肥沼悟郎, 樋口昌孝, 川崎一輝: 喀血を来した先天性右肺静脈閉鎖の2例. 第39回日本小児呼吸器疾患学会, 東京, 2006.11.17
15. 菊池信太郎, 遠藤美紀, 樋口昌孝, 川崎一輝: 乳幼児の不顕性吸引(silent aspiration). 第39回日本小児呼吸器疾患学会, 東京, 2006.11.17
16. 遠藤美紀, 菊池信太郎, 肥沼悟郎, 樋口昌孝, 川崎一輝: 自然消失した舌根嚢胞—要因の推察. 第39回日本小児呼吸器疾患学会, 東京, 2006.11.17
17. 内藤陽子, 肥沼悟郎, 樋口昌孝, 森 鉄也, 川村雅文, 小林紘一: タルク沫による両側胸膜癒着術を行った続発性気胸の男児例. 第39回日本小児呼吸器疾患学会, 東京, 2006.11.17
18. 樋口昌孝, 寺町昌史, 遠藤美紀, 菊池信太郎, 亀井宏一, 飯島一誠, 川崎一輝: 14歳で診断したWegener肉芽腫症の1例. 第39回日本小児呼吸器疾患学会, 東京, 2006.11.17
19. 樋口 収, 足立雄一, 市丸智浩, 浅井正嗣, 川崎一輝: 小児における気管・気管支異物の全国調査結果(宿題報告). 第39回日本小児呼吸器疾患学会, 東京, 2006.11.18
20. 菊池信太郎, 遠藤美紀, 肥沼悟郎, 樋口昌孝, 川崎一輝: KL-6高値を呈した免疫不全症の2例. 第39回日本小児呼吸器疾患学会, 東京, 2006.11.18

アレルギー科

[原著論文]

- 1) Miyake Y, Sasaki S, Ohya Y, Miyamoto S, Matsunaga I, Yoshida T, Hirota Y, Oda H; The Osaka Maternal And Child Health Study Group. Dietary intake of seaweed and minerals and prevalence of allergic rhinitis in Japanese pregnant females: baseline data from the Osaka maternal and child health study.
Ann Epidemiol. 2006 Aug;16(8):614-21.
- 2) Miyake Y, Sasaki S, Tanaka K, Yokoyama T, Ohya Y, Fukushima W, Saito K, Ohfuji S, Kiyohara C, Hirota Y; Osaka Maternal and Child Health Study Group. Dietary folate and vitamins B12, B6, and B2 intake and the risk of postpartum depression in Japan: the Osaka Maternal and Child Health Study.
J Affect Disord. 2006 Nov;96(1-2):133-8.
- 3) Takahashi N, Suzukamo Y, Nakamura M, Miyachi Y, Green J, Ohya Y, Finlay AY, Fukuhara S; Acne QOL Questionnaire Development Team. Japanese version of the Dermatology Life Quality Index: validity and reliability in patients with acne. Health Qual Life Outcomes. 2006 Aug 3;4:46
- 4) Miyake Y, Sasaki S, Yokoyama T, Tanaka K, Ohya Y, Fukushima W, Saito K, Ohfuji S, Kiyohara C, Hirota Y; the Osaka Maternal and Child Health Study Group. Risk of postpartum depression in relation to dietary fish and fat intake in Japan: the Osaka Maternal and Child Health Study. Psychol Med. 2006 Aug 29;:1-9
- 5) Takahashi N, Suzukamo Y, Nakamura M, Miyachi Y, Green J, Ohya Y, Finlay AY, Fukuhara S; Acne QOL Questionnaire Development Team. Japanese version of the Dermatology Life Quality Index: validity and reliability in patients with acne.
Health Qual Life Outcomes. 2006 Aug 3;4:46.
- 6) 渡辺淳子 谷口正実 高橋清 中川武正 大矢幸弘 赤澤晃 秋山一男 成人喘息 European Community Respiratory Health Survey 調査用紙日本語版の作成と検証 アレルギー 2006 55: 1421-1428.
- 7) 吉田俊明 松永一朗 織田肇 三宅吉博 佐々木敏 大矢幸弘 宮本正一 廣田良夫 資料
大阪府内の住宅における実生活環境下での科学物質 (HCHO, NO2, VOC, SVOC) による室内環境汚染 室内環境学会誌 vol19, 83-95, 2007.

[総説]

1. 野村伊知郎, 福家辰樹, 中谷夏織, 大矢幸弘: 鑑別を要するアレルギー疾患、新生児アレルギー性胃腸炎と低蛋白血症を伴うアトピー性皮膚炎. こどもケア 2006; Vol 1, No 6: p116-123, ,
2. 野村伊知郎: 小児科診療増刊 小児の治療指針 アトピー性皮膚炎. 2006; Vol. 69: 273 - 276.

3. 野村伊知郎：小児アトピー性皮膚炎診療のコツ トピックス 低蛋白血症を伴う小児アトピー性皮膚炎、小児科診療 2006年； 69巻8号：1193-1196.
4. 野村伊知郎：特集アレルギー疾患とInnate immunity 皮膚角質細胞におけるInnate Immunityとアトピー性皮膚炎の病態について．アレルギー免疫 2006年； Vol 13 No4： p56-61.
5. 小嶋なみ子 久野能弘 大矢幸弘 アレルギー児と不登校について 心とからだの健康 健康学社 vol.10, No.95, 62-64, 2006.
6. 大矢幸弘 吉田桃 最近の子どものアレルギー事情 子どものからだ - 体力・睡眠・アレルギー 子どもと健康No.82：p31-39, 2005
7. 大矢幸弘 アトピー性皮膚炎への食物除去指導へのエビデンスの有無 日本医事新報 No 4270:108-109, 2006
8. 大矢幸弘、益子育代、二村昌樹、小嶋なみ子、小児のアトピー性皮膚炎と行動医学 小児科 47: p371-377, 2006
9. 大矢幸弘 小児アレルギー疾患におけるQOL調査のValidation アレルギー・免疫 vol.13:668-675, 2006.
10. 二村昌樹 大矢幸弘 アレルギー疾患の看護アプローチ 小児皮膚アレルギー疾患(前編)こどもケア vol1.(2), P86-91, 日総研 2006.
11. 大矢幸弘 監修 気管支喘息患児における 2刺激薬の臨床上的使用ポイント 大塚薬品(株)信頼性保証本部医薬情報センター
12. 大矢幸弘 アレルギー疾患の看護アプローチ 小児皮膚アレルギー疾患(後編)こどもケア vol1.(3), P111-119, 日総研 2006.
13. 大矢幸弘、吉田桃、森澤豊 技術講座 喘息発作とvocal cord dysfunction アレルギーの臨床 26;78-82, 2006
14. 大矢幸弘 特集 小児アトピー性皮膚炎診療のコツ 説明のコツ 小児アトピー性皮膚炎に悩む親への説明 小児科診療 69:1109-1114, 2006.
15. 海老澤元宏 大久保公裕 相原雄幸 大矢幸弘 小児アレルギー疾患の薬物療法 中枢移行性の低い第二世代抗ヒスタミン薬の評価 日経メディカル 同梱別冊 2006年8月号 1-8, 2006
16. 大矢幸弘 特集「子どものアレルギー疾患」アトピー性皮膚炎 健康教室 672集 11月号 2006
17. 大矢幸弘 Evidence-based Dermatology 「アトピー性皮膚炎のダニ対策のエビデンス」 皮膚アレルギーフロンティアvol4. 56-50,2006
18. 大矢幸弘 特集 気管支喘息：コンセンサスが得られている治療法を中心に「急性発作の治療抗コリン薬」 小児内科 vol.38(11):1896-1900,2006.
19. 大矢幸弘 乳幼児の喘息治療に対する新たな展望 ブデソニド吸入用懸濁液 5.安全性 吸入ステロイド薬の安全性 視床下部 下垂体 副腎系機能への影響 Pharma Medica 24(suppl)35-41, 2006.
20. 二村昌樹 大矢幸弘 小児気管支喘息とQOL評価 Evaluation of QOL in childhood bronchial

asthma International Review of Asthma 8;44-50, 2006

21. 大矢幸弘 アトピー性皮膚炎とQOL 特集によせてー アレルギーの臨床 27:260-261, 2007.
22. 益子育代 大矢幸弘 赤澤晃 私立中学高校における喘息教育の実践とその成果 日本小児アレルギー学会誌 21:38-43,2007
23. 大矢幸弘 アレルギー疾患の疫学 .世界のアレルギー関連コホート研究 アレルギー・免疫 14:627-633, 2007.
24. 大矢幸弘 小児アレルギー疾患領域における健康関連QOLとは Pediatric Allergy for Clinicians 3(3)p12-17, 2007
25. 斎藤 暁美 :動物アレルギーと昆虫アレルギー .こどもケア 2006 ; 1-4 : 101-107
26. 明石真幸,大矢幸弘:最新 アレルギー疾患への看護アプローチ 第1回 気管支喘息 .こどもケア 2006 ,日総研 ,2006 ; 85-93]
27. 須田友子:吸入ステロイド液の外国における使用状況とその効果は? アレルギーの臨床 Vol.26 No351 , 2006 ; 86
28. 成田雅美 :アレルギー疾患への看護アプローチ 食物アレルギー(解説) .こどもケア 2006;1:41-48
29. 成田雅美:食物アレルギー発症予防と妊娠期・授乳期の除去食(解説/特集) .臨床栄養 2006 ; 109:176-181
30. 成田雅美:喘息の子の体育やクラブ活動について相談されたら(解説/特集) .診断と治療 2006; 94:467-474

[著書]

- 1 . 野村伊知郎:思春期喘息の特徴と長期ケア .(勝沼俊雄編・斎藤博久監修) 小児アレルギーシリーズ 喘息 , 診断と治療社 , 2006 ; 26-31.
- 2 . 野村伊知郎:理学療法の意義と方法 .(勝沼俊雄編・斎藤博久監修) 小児アレルギーシリーズ 喘息 , 診断と治療社 , 2006 ; 88-91.
- 3 . 大矢幸弘 喘息児の日常生活 2.小児の喘息とスポーツ (勝沼俊雄編・斎藤博久監修) 小児アレルギーシリーズ 喘息 診断と治療社 182-187,2006
- 4 . 大矢幸弘 私の処方箋 11歳 両親の別居に伴い喘息が悪化した (勝沼俊雄編・斎藤博久監修)小児アレルギーシリーズ 喘息 診断と治療社 32-33,2006
- 5 . 大矢幸弘 喘息児の日常生活 12歳 vocal cord dysfunction が疑われる (勝沼俊雄編・斎藤博久監修)小児アレルギーシリーズ 喘息 診断と治療社 157,2006

[報告書、その他]

- 1 . 野村伊知郎 (監修):アトピー性皮膚炎患者における、汗中Dermocidin由来抗菌ペプチドの欠乏が皮膚防御機構を障害している , Pediatric Allergy for Clinicians Vol2 No3 , 2006 ; 58 - 59 .
- 2 . 座談会記事 江藤隆史、大矢幸弘 望月博之、司会 :河野陽一 アトピー性皮膚炎の難治

化を防ぐ治療戦略 Pediatric Allergy for Clinicians vol3:5-12, 2007.

3. 三宅吉博、廣田良夫、大矢幸弘、佐々木敏、横山徹爾、田中景子、厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「衛生仮説を含めたアレルギー性疾患の発症関連環境要因の解明に関する前向きコホート及び横断研究」班 平成 18 年 福岡市における小中学生の健康調査報告書 126P, 2006
4. 三宅吉博、廣田良夫、大矢幸弘、佐々木敏、横山徹爾、田中景子、厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「衛生仮説を含めたアレルギー性疾患の発症関連環境要因の解明に関する前向きコホート及び横断研究」班 平成 18 年 吹田市における小中学生の健康調査報告書 126P, 2006
5. 大矢幸弘 出生前後の生活環境と 1 歳 6 ヶ月時アレルギー疾患発症との関連:大阪母子保健研究 厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「衛生仮説を含めたアレルギー性疾患の発症関連環境要因の解明に関する前向きコホート及び横断研究」平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業研究報告書 第 2 分冊 p400-402,2007.
6. 大矢幸弘 野村伊知郎 須田友子 渡辺博子 成田雅美 明石昌幸 二村昌樹 松本美江子 小嶋なみ子 赤澤晃 気管支喘息患者の養育者に特異的な QOL 調査用紙開発研究 厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「気管支喘息の有病率・罹患率および QOL に関する全年齢階級別全国調査に関する研究」厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業研究報告書第 1 分冊 p310-312,2007.
7. 大矢幸弘 窪田泰夫 星岡明 坂本なほ子 小嶋なみ子 宮崎晃子 細谷律子 アトピー性皮膚炎患者の QOL 尺度の開発に関する研究 厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「アトピー性皮膚炎の症状の制御および治療法の普及に関する研究」平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業研究報告書 第 2 分冊 p382-384,2007.
8. 堤明純 梅原桂 三木明子 大矢幸弘 小河孝則 三徳和子 坂田知子 小木和孝 吉川徹 和田耕治 坂田由美 篠田梨佳 脇田貴文 小田切優子 大谷由美子 下光輝一 医療・福祉従事者に特徴的なストレス要因を測定する尺度の開発に関する研究 平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)総括・分担報告書 P25-67,2007
9. 大矢幸弘 (独)環境再生保全機構委託業務 小児および思春期の気管支喘息患者の重症度に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究報告書 2006 年度(第 7 期初年度) 137p, 2007
10. 大矢幸弘 萬木晋 日本の子どもにおける身体活動・運動の行動目標設定と効果の検証第 1 報 3. 子どもにおける身体活動・運動の必要性 「小児アレルギー疾患の発症・治療と運動の関係に関するレビュー 11-20, 2007
11. 大矢幸弘 日本の子どもにおける身体活動・運動の行動目標設定と効果の検証第 1 報 資料 提言 アレルギー疾患と運動 78,2007

- 1 2 . 中谷夏織 (監修): 血清卵白特異的 IgE 抗体値の低い小児における卵白皮膚プリックテストの有用性について, *Pediatric Allergy for Clinicians* Vol2 No4, 2006 ; 60 - 61
- 1 3 . 中谷夏織 (監修): Food protein-induced enterocolitis syndrome 診断のためのアトピーパッチテスト, *Pediatric Allergy for Clinicians* Vol3 No1, 2007 ; 60-61
- 1 4 . 須田友子 (監修): 小児喘息歴のある若年成人の不可逆性肺機能障害 *Pediatric Allergy for Clinicians* Vol.2 No3, 2006 ; 52-53

[学会発表]

1. Akemi Saito, Yukihiko Ohya, Akiko Aota, Akira Akasawa The first nation-wide asthma survey by using the ECRHS questionnaire in Japan. European Academy of Allergy and Clinical Immunology XXV annual meeting, Viena, Austria, 11 June 2006.
2. Ohya Y, Watanabe H, Kojima N, Katsunuma T, Kondo N, Akasawa A. Impact of Pediatric asthma and treatment on care-givers visiting specialist clinics in Japan. Annual meeting of American Academy of Allergy and Asthma and Immunology. 2007.2.24 San Diego, USA.
3. Akashi M, Narita M, Kojima R, Gocho N, Nakatani K, Fukuie T, Manki S, Aota A, Futamura M, Inoue N, Saito A, Suda T, Nomura I, Ebisawa M, Akasawa A, Saito H, Ohya Y: Oral Desensitization Therapy in Children with Egg Allergy. American Academy of Allergy Asthma and Immunology (AAAAI), San Diego, 2006.2.24
4. 大矢幸弘 花粉の影響で悪化するシーズンのアトピー性皮膚炎のスキンケア 杉並区小児科医学会学術講演会 杉並区 2006.4.18
5. 近藤 康人 宇理須厚雄 中島陽一 小松原亮 河村牧子 各務美智子 松山温子 平田典子 柘植郁哉 徳田玲子 大矢幸弘 小児アトピー性皮膚炎でのタクロリムス軟膏短期使用における QOL からみた有効性の検討
6. 梅原桂 青谷裕文, 恵谷ゆり, 江原伯陽, 大矢幸弘, 高山ジョーン一郎, ChuckYasuko F, 舟本仁一, 松裏裕行, 和田紀久, 柳原恵子, 中澤誠, 藤村正哲 小児医療のグランドデザイン 小児医療改革案のまとめと今後の展望 小児科医のストレス調査 日本小児科学会 金沢 2006.4.23
7. 大矢幸弘 市民公開講座「アレルギーは治るのか、コントロールできるのか」 第18回日本アレルギー学会春期臨床大会 東京 2006.6.1
8. 大矢幸弘 小児アトピー性皮膚炎の QOL 評価(ランチョンセミナー) 第30回日本小児皮膚科学会学術大会 名古屋 2006.6.17
9. 大矢幸弘 小児気管支喘息および関連疾患への行動療法 第6回愛知小児気管支喘息 QOL 研究会 愛知 2006.6.17
10. 大矢幸弘 小児気管支喘息の病態と治療 大塚製薬社内講演会 東京 2006.6.28
11. 大矢幸弘 小児アトピー性皮膚炎と QOL アレジオンドライシロップ発売1周年記念講演会 東京 2006.7.1
12. 大矢幸弘 アトピー性皮膚炎治療の外来診療 ABC 慈恵医大小児科医局会 Pediatric Ground Round 2006.7.5

13. 大矢幸弘 シンポジウム 今、地域社会と医療現場で何が起きているのか 医師の労働実態を考える 保団連第36回夏季セミナー 東京 2006.7.9
14. 大矢幸弘 小児気管支喘息ガイドライン2005 注目されない改定点 日野市医師会学術講演会 2006.7.10
15. 大矢幸弘 エビデンスに基づくアレルギー疾患の治療 特にアトピー性皮膚炎の薬物療法と気管支喘息の行動療法を重点に 第16回アレルギーを語る会 2006.7.15
16. 大矢幸弘 小児気管支喘息 ガイドラインをふまえてー 日本アレルギー学会専門医セミナー 東京 2006.8.27
17. 大矢幸弘 かゆみの評価とアトピー性皮膚炎の薬物療法 エビデンスに基づくアトピー性皮膚炎における最近の薬物療法と現場のもつめる新薬像 技術情報協会 2006.8.30
18. 大矢幸弘 小児気管支喘息治療管理ガイドライン 2005 の改訂とテオフィリンの臨床 テオフィリンフォーラム in 高松 高松 2006.9.2
19. 大矢幸弘 QOL 評価尺度の開発と留意点 マルホ株式会社学術講演会 大阪 2006.9.8
20. 大矢幸弘 アレルギー性疾患についてもっと知ろう「アレルギー性疾患とスキンケア」「子どもの喘息と日常生活」平成18年度アレルギー性疾患対策人材育成研修・第2回公開講座 八王子 2006.9.11
21. 大矢幸弘 ブデゾニド吸入懸濁液の国内治験データと治療薬の一途付け 第359回福岡地区小児科医会(丹々会)学術講演会 2006.9.27
22. 大矢幸弘 アトピー性皮膚炎の EBM とスキンケア 高知県小児科医会学術集会 高知 2006.10.5
23. 大矢幸弘 第3回アレルギー講座 よくわかる!小児アレルギー講座「アトピー・っぜんそく」 2006.10.8 釧路
24. 大矢幸弘 パルミコート吸入液と乳幼児喘息治療の新しい展開 Infant Asthma Symposium in Kawagoe 2006.10.11 川越
25. 大矢幸弘 アレルギー講演会 小児喘息の予防と治療 多摩府中保健所 2006.10.18 府中
26. 大矢幸弘 特別講演「乳幼児喘息治療の新しい展開」 新発売記念講演会 2006.10.20 立川
27. 小嶋なみ子 大矢幸弘 ケーススタディ3 小児心身症に対するリラクセーションの適応 ボディスキャンを用いた全身性リラクセーションの有効性 第32回日本行動療法学会 2006.10.23 東京
28. 大矢幸弘 パルミコート吸入液と乳幼児喘息治療の新しい展開 パルミコート吸入液新発売記念講演会 2006.10.28 和歌山
29. 大矢幸弘 イブニングシンポジウム6「吸入ステロイドのアドヒアランス向上へのアプローチ」 行動医学に基づく患者教育 第56回日本アレルギー学会秋季学術大会 2006.11.3 東京
30. 大矢幸弘 東京都・環境再生保全機構「ぜん息予防講演会」 子どものアレルギーを正しく知ろう ~ぜん息と食物アレルギーの治療と日常の過ごし方~ 2006.11.6 東京
31. 大矢幸弘 アレルギーセミナー「知りたい!アレルギー治療の最前線」 2006.11.8 稲城市

32. 大矢幸弘 小児アレルギー治療の新展開「アトピー性皮膚炎のダニ対策と外用療法のエビデンス」第9回神奈川アレルギー性炎症懇話会 2006.11.10 横浜
33. 大矢幸弘 小児アレルギー疾患の予防に関する疫学と治療に関する EBM 所沢小児科医会第237回例会学術講演会 2006.11.21 埼玉県所沢市
34. 大矢幸弘 乳幼児気管支喘息治療の最新のエビデンス 第10回アレルギー臨床懇話会 2006.12.7 世田谷区
35. 大矢幸弘 小児のアレルギー ~アトピー性皮膚炎を中心に~ 2007.1.10 東京都稲城市
36. 大矢幸弘 アトピー性皮膚炎とスキンケア 日野市アレルギー教室(講演会)2007.1.20 東京都日野市
37. 大矢幸弘 学童期のアレルギー性疾患 「行動医学に基づく学童の診療のコツ」アレグラ小児適応追加記念講演会 2007.1.27 東京
38. 大矢幸弘 シンポジウム3「小児アレルギーと環境因子 なぜ慢性炎症なのか」3.大気汚染 第15回小児臨床薬理・アレルギー・免疫研究会 2007.1.28 東京
39. 大矢幸弘 市民公開講座「アレルギー診療とガイドライン」3.アトピー性皮膚炎 第15回小児臨床薬理・アレルギー・免疫研究会 2007.1.28 東京
40. 大矢幸弘 食育と食物アレルギー 鎌倉市食育講演会 2007.1.29 鎌倉市
41. 大矢幸弘 乳幼児のアレルギー 平成18年度保健衛生事業従事者研修会 2007.2.13 東京都小金井市
42. 大矢幸弘 特別講演「テオドールと新しい小児気管支喘息治療」 日本医師会生涯教育講座 2007.2.14 北海道旭川市
43. 大矢幸弘 アレルギー疾患の医療と学校保健 平成18年度国立特殊教育総合研究所第2期短期研修肢体不自由・病弱教育コース 東京
44. 大矢幸弘 小児及び思春期の気管支ぜん息患者の重症度に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究 第18回環境保健調査研究報告会 2007.3.11 東京
45. 大矢幸弘 アレルギー疾患のセカンドオピニオンと患者向け医療情報提供 国立病院機構 平成18年度 セカンドオピニオンに関する研修会 2007.3.19 東京
46. 大矢幸弘 パルミコート吸入液の位置付けと現状の課題 US-Japan Asthma Summit
47. 野村伊知郎、吉田桃、井上徳浩、青田明子、斎藤暁美、二村昌樹、明石真幸、成田雅美、須田友子、赤澤晃、大矢幸弘 : 低蛋白血症を伴うアトピー性皮膚炎の症状出現頻度の検討 . 第18回日本アレルギー学会春期臨床大会 , 東京 , 2006.5.30.
48. 野村伊知郎 : シンポジウム2 アレルギー疾患の難治化要因とその対策 乳児期以降のアトピー性皮膚炎の難治化要因とその対策 . 第23回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会 , 富山 , 2006.6.10
49. 大石拓、白石泰資、小野美樹、高橋昭良、井上和男、高橋芳夫、小倉英郎 : 治療抵抗性で両側冠動脈瘤を合併したがインフリキシマブが著効した川崎病の1ヵ月乳児例, 日本小児科学会, 高知, 2006.4.2.

50. 小倉由紀子, 小倉英郎, 小野美樹, 大石拓, : 診断に苦慮した, チョコレートによる慢性頭痛の1例. 第18回 アレルギー学会春季臨床大会, 東京, 2006. 5.31
51. 小倉英郎, 小倉由紀子, 大石拓, 高橋昭良: 加熱卵摂取が可能であったが, 生卵摂取によりアナフィラキシーを来した5歳男児例. 第18回 四国小児アレルギー研究会, 愛媛, 2006. 6. 18
52. 白石泰資, 大石拓, 玉城渉, 小倉英郎: インフリキシマブが著効したガンマグロブリン不応の生後1ヵ月発症川崎病. 第26回日本川崎病研究会, 大阪, 2006. 10. 15
53. 大石拓: 小児気管支喘息児の話題—喘息死をなくすために—. 子供の健康週間フォーラム, 高知, 2006. 10. 19
54. 小倉由紀子, 小倉英郎, 大石拓: 入院・加療した成人難治性アトピー性皮膚炎患者の予後及び就業状況についての検討. 第56回 日本アレルギー学会秋季学術大会, 東京, 2006. 11. 2
55. 大石拓, 白石泰資, 小倉英郎: 2005年度に当院重症心身障害児(者)病棟で経験したノロウイルスの集団感染について. 第38回 日本小児感染症学会, 高知, 2006. 11. 11
56. 臼井大介, 篠原示和, 堂野純孝, 大石拓, 細川卓利, 脇口宏: プロトンポンプ阻害薬で呼吸器症状の改善がえられたGERDの2小児例. 第43回 日本小児アレルギー学会, 千葉, 2006. 11. 25
57. 小倉由紀子, 小倉英郎, 大石拓: 米アレルギーによる食欲低下から, 著明な低ナトリウム血症をきたした重症乳児アトピー性皮膚炎の1例. 第43回 日本小児アレルギー学会, 千葉, 2006. 11. 25
58. 小倉英郎, 小倉由紀子, 大石拓: 小麦, 米, 大豆アレルギーにおけるCCD IgE抗体測定の意義について. 第43回 日本小児アレルギー学会, 千葉, 2006. 11. 25
59. 堂野純孝, 佐藤哲也, 細川卓利, 前田明彦, 久川浩章, 脇口宏, 大石拓: 末梢血からEBVとHHV6のゲノムを同時に検出した血球貪食症候群の2例. 第48回 日本小児血液学会, 大阪, 2006. 11. 26
60. 大石拓, 小倉英郎, 小倉由紀子: 加熱卵摂取が可能であったが, 生卵摂取によりアナフィラキシーを来した5歳男児例. 第9回高知小児感染・免疫・アレルギー研究会, 2007. 1. 19
61. 斎藤暁美, 青田明子, 大矢幸弘, 小嶋なみ子, 明石真幸, 二村昌樹, 井上徳浩, 秋山一男, 高橋清, 中川武正, 小林章雄, 烏帽子田彰, 中村裕之, 小田嶋博, 足立雄一, 赤澤晃 (厚生労働科学研究「気管支喘息の有病率・罹患率およびQOLに関する全年齢階層別全国調査に関する研究」班): 電話法による全国全年齢階級別気管支喘息有症率調査. 第18回日本アレルギー学会春季臨床大会, 東京, 2006. 5. 31.
62. 明石真幸, 大矢幸弘, 小嶋なみ子, 青田明子, 斎藤暁美, 二村昌樹, 足立雄一, 小田嶋博, 赤澤晃: ISAAC調査票による全国小中学生気管支喘息有症率調査. 第109回日本小児科学会, 金沢, 2006. 4. 23
63. 明石真幸, 大矢幸弘, 小嶋なみ子, 二村昌樹, 斎藤暁美, 青田明子, 井上徳浩, 秋山一男, 高橋清, 中川武正, 小林章雄, 烏帽子田彰, 中村浩之, 小田嶋博, 足立雄一, 赤澤晃: 全国小中学生におけるアレルギー疾患有症率の現状. 第18回日本アレルギー学会, 東京, 2006. 5. 31

64. 明石真幸, 小嶋なみ子, 武田洋子, 赤澤晃: 運動負荷試験実施で参加者の治療高率が高まった喘息キャンプ. 第 23 回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会, 富山, 2006.6.10
65. 明石真幸, 大矢幸弘, 成田雅美, 赤澤晃: シラカンバ及びハンノキ花粉による OAS 症状を呈した男児 2 例における交差反応の解析. 第 11 回日本ラテックスアレルギー研究会, 福岡, 2006.7.23
66. 渡辺博子, 小嶋なみ子, 明石昌幸, 大矢幸弘, 赤澤晃, 小田嶋博, 藤澤隆夫, 海老沢元宏, 平野幸子: 小児気管支喘息予後調査 最終登録状況. 第 18 回日本アレルギー学会春期臨床大会 東京 2006.5.31
68. 渡辺博子, 小嶋なみ子, 明石昌幸, 大矢幸弘, 赤澤晃, 小田嶋博, 藤澤隆夫, 海老沢元宏, 平野幸子: 小児気管支喘息予後調査 経過報告. 第 43 回小児アレルギー学会 2006 年 11 月 25 日
69. 中谷夏織, 小嶋なみ子, 青田明子, 成田雅美, 福家辰樹, 萬木晋, 齋藤暁美, 明石真幸, 野村伊知郎, 海老沢元宏, 赤澤晃, 大矢幸弘: 食物負荷試験により多項目にわたる食物制限の解除が可能となった一女兒例, 日本小児アレルギー学会, 千葉, 2006.11.25
67. 成田雅美, 野村伊知郎, 青田明子, 齋藤暁美, 吉田桃, 明石真幸, 二村昌樹, 井上徳浩, 須田友子, 海老沢元宏, 赤澤晃, 大矢幸弘: 血清トリプターゼ値は食物アレルギーによるアナフィラキシーの診断に有用である. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会, 東京, 2006.11.2
68. 益子育代, 齋藤就美, 小嶋なみ子, 松本美江子, 齋藤暁美, 吉田桃, 大矢幸弘: アトピー性皮膚炎と関連疾患 前思春期にあるアトピー性皮膚炎患者の教育プログラムとその効果. 第 18 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2006 年 5 月, 東京
69. 益子育代, 大矢幸弘, 赤澤晃: 私立中学高校における喘息教育の実践とその成果, シンポジウム: 保育園・幼稚園・学校における小児アレルギー疾患の問題点と対処, 第 43 回日本小児アレルギー学会, 2006 年 11 月, 千葉市

膠原病・感染症科

【総説】

1. 小林信一: 麻酔・手術の前に予防接種はだめなのか. 小児外科 2006 38 411-413
2. 小林信一: SLE 今日の小児治療指針 14 版 2006.216-217
3. 小林信一: 麻疹・風疹・水痘・ムンプス 小児科診療 2006 69 1875-1880
4. 小林信一: 小児疾患の診断治療基準, EB ウイルス感染症 小児内科 2006 vol138 増刊号 316-317
5. 小林信一: 小児疾患の診断治療基準, 食細胞機能異常症 小児内科 2006 vol138 増刊号 241-242
6. 小林信一: 学校伝染病第三種について 日本皮膚科学会雑誌 2006 116 2061-2063
7. 小林信一: 小児の気道感染症—基礎と臨床 急性扁桃炎の原因と所見 小児内科 2007 39 59-62
8. 小林信一: 小児科診療ガイドライン 若年性特発性関節炎 総合医学社 2007 390-393

【原著論文】

Shinichi Kobayashi, Shizuko Murayama, Osamu Tatsuzawa, Goro Koinuma, Kazuki Kawasaki, Chikako

Kiyotani, Masaaki Kumagai, Successful treatment with micafangin to X-SCID having high level of serum immunoglobulins with aspergillus pneumonia Eur J Pediatr 2007 166 207-210

【学会発表】

1. 小林信一：学校伝染病第三種 日本皮膚科学会総会 2006/6/3
2. 小林信一、村山静子、立澤宰：血清免疫グロブリンが高値を呈したX-SCIDの一例第38回小児感染症学会 2006/11/10
3. 村山静子、小林信一、立澤宰：臍帯血移植後に播種性BCGをおこしたX-SCIDの一例 第38回小児感染症学会 2006/11/10
4. 村山静子、小林信一、立澤宰：CGDに合併したアスペルギルス3例に対する新しい抗真菌薬による治療経験 第14回食細胞機能異常症研究会 2006/12/8

内分泌代謝科

【原著論文】

1. Fukami M, Hasegawa T, Horikawa R, Ohashi T, Nishimura G, Homma K, Ogata T. Cytochrome P450 Oxidoreductase Deficiency in Three Patients Initially Regarded as Having 21-Hydroxylase Deficiency and/or Aromatase Deficiency: Diagnostic Value of Urine Steroid Hormone Analysis Pediatr Res 2006;59:276-280.
2. Tanaka T, Fujieda K, Yokota S, Shimatsu A, Tachibana K, Tanaka H, Tanizawa T, Teramoto A, Nagai T, Nishi Y, Hasegawa Y, Hanew K, Fujita K, Horikawa R, Takada G, Miyasita M, Ohno T, Komatsu K. No Improvement of Adult Height in Non-growth Hormone (GH) Deficient Short Children with GH Treatment. Clin Pediatr Endocrinol 2006;15:15-21
3. 内木康博, 堀川玲子, 肥沼悟郎, 川崎一輝, 奥山虎之, 緒方勤, 佐藤真理, 田中敏章. Marshall Smith 症候群の男児例における骨年齢の評価. 日本成長学会雑誌 2006;12:31-34,
4. 磯島豪, 藤本陽子, 内木康博, 中村知夫, 伊藤裕司, 荒田尚子, 堀川玲子. 甲状腺疾患を合併した母体より出生した児の甲状腺機能の検討. 小児内分泌学の進歩 2006 ホルモンと臨床. 2006;54:1015-1021
5. Katsumata N, Horikawa R, Tanaka T. Replacement of alanine with asparagic acid at position 203 in human steroidogenic acute regulatory protein impairs the ability to enhance steroidogenesis in vitro. Endocr J. 2006;53:427-31.
6. Homma K, Hasegawa T, Horikawa R, Fujiwara I, Tajima T, Takeda R, Fukami M, Ogata T. Urine steroid hormone profile analysis in cytochrome P450 oxidoreductase deficiency: implication for the backdoor pathway to dihydrotestosterone. J Clin Endocrinol Metab. 2006;91:2643-9.
7. Kasahara M, Horikawa R, Tagawa M, Uemoto S, Yokoyama S, Shibata Y, Kawano T, Kuroda T, Honna T, Tanaka K, Saeki M. Current role of liver transplantation for methylmalonic acidemia: a review of the literature (Review). Pediatr Transplant. 2006;10:943-7.
8. Morimoto N, Tanaka T, Taiji H, Horikawa R, Naiki Y, Morimoto Y, Kawashiro N. Hearing loss in Turner syndrome. J Pediatr. 2006;149:697-701.
9. 【ホモシスチン尿症】 ビタミン B6 不応型ホモシスチン尿症の成人例. 内木康博, 堀川玲子 特殊ミルク情報(先天性代謝異常症の治療)42 : 8-9(2006)
10. Hypogonadotropic hypogonadism in an adult female with a heterozygous hypomorphic

mutation SOX2. Sato N, Kamachi Y, Eur J Endocrinol 156:167-171(2007)

11. 田中敏章, 本条成子, 内木康博, 堀川玲子. 低身長を主訴に内分泌代謝外来を受診した新患の検討 日本成長学会雑誌 2007:13:11-19
12. 綾部匡之, 阿部清美, 曾根田瞬, 藤本陽子, 磯島豪, 内木康博, 堀川玲子. CBZ 内服中止でコントロールの改善した CYP21A2 異常症の 1 例. 日本内分泌学会雑誌 2007:83 特集:182-183
13. 吉原愛, 齋藤洋, 田辺晶代, 肥塚直美, 堀川玲子, 高野加寿恵 Holt-Oram 症候群に合併した悪性褐色細胞腫の一例. 日本内分泌学会雑誌 2007:83 特集: 171-173.
14. 高良洋平, 槇田紀子, 仁科祐子, 代田翠, 高野幸路, 飯利太郎, 福本誠二, 堀川玲子, 藤田敏郎. 症例から学ぼう あなたなら 先天性副腎皮質過形成に難治性バセドウ病を合併し, 治療に苦慮した一例. 日本内分泌学会雑誌 2007:83 巻特集: 22-28

【総説】

1. 堀川玲子. 特集 成長ホルモン治療の ABC. Growing 2006:26(春号) : 1-8
2. 堀川玲子. 脳腫瘍治療後の内分泌管理. 脳神経外科速報 2006:16:443-449.
3. 藤田敬之助, 堀川玲子. 成長ホルモン分泌不全性低身長およびターナー症候群における成長ホルモンの治療の早期開始の重要性. Pediatric Apis 2006 no.2
4. 堀川玲子. 負荷試験の実際 フロセミド立位負荷試験, アンジオテンシン 負荷試験. 小児内科 2006:38:1295-1298.
5. 恒松由紀子, 堀川玲子, 有瀧健太郎, 熊谷昌明, 森鉄也, 掛江直子, 藤本純一郎. 小児から成人へのキャリアオーバー 小児がん患者の成人期移行と長期フォローアップの諸問題. 小児科 2006:47:1485-1498
6. 堀川玲子. 内分泌症候群(第2版) -その他の内分泌疾患を含めて-. 糖代謝 インスリン抵抗性・耐糖能異常を伴う遺伝性(先天性)症候群 Her rmann 症候群. 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ NO.3 2006:122-124.
7. 堀川玲子. 思春期医学-何が問題なのか. 小児科臨床 2006:60:13-22.
8. 堀川玲子. 汎下垂体機能低下症(複合型下垂体機能低下症). 小児内科 2006:38:221-222.
9. 堀川玲子. 脳腫瘍による汎下垂体機能低下症. 小児科臨床 2007:60:173(13)-180(20).
10. 堀川玲子. 性早熟. ホルモンと臨床 2007:別冊 55:55-63.

【著書】

1. 小児疾患の診断治療基準 第3版 「汎下垂体機能低下症(複合型下垂体機能低下症)」堀川玲子. 東京医学社 (2006)
2. 小児慢性疾患診療マニュアル 「クッシング症候群」「原発性アルドステロン症」堀川玲子 加藤忠明監修 診断と治療社 (2006)
3. 専門医による新小児内分泌疾患の治療 田苗綾子, 前坂機江, 田中敏章, 横谷進, 立花克彦, 堀川玲子, 安達昌功 編著 診断と治療社 (2007)
4. 内分泌代謝専門医ガイドブック 「思春期早発症」堀川玲子. 成瀬光荣, 平田結喜緒, 島津章 編集, 診断と治療社 (2007)

【報告書】

1. 胎児発育不全性低出生体重児における耐糖能異常:2型糖尿病治療薬の有効性・安全性の評価. 堀川玲子. 厚生労働科学研究報告書 73-77 (2006)
2. プラダーウィリー症候群における耐糖能異常:2型糖尿病治療薬の有効性・安全性の評価. 堀川玲子. 厚生労働科学研究報告書 85-90 (2006)

【学会発表】

1. 磯島豪, 藤本陽子, 前川貴伸, 内木康博, 堀川玲子, 田中敏章. 乳児期発症の心因性多飲多尿 6 例の臨床像. 第 40 回日本小児科学会学術集会 (金沢, 2006 年 4 月 23 日)
2. 片上秀喜, 堀川玲子, 石原隆, 日高博之, 山口秀樹, 米川忠人, 松倉茂. 下垂体茎断裂症候群 (PSDS) の長期予後: 小児期の成長障害から成人期の副腎不全へ. 第 79 回日本内分泌学会学術総会 (神戸, 2006 年 5 月 19 日)
3. 磯島豪, 内木康博, 細川真一, 中村知夫, 伊藤裕司, 堀川玲子. 新生児期に Cushing 症候群を発症した Beckwith-Wiedemann 症候群の 1 例. 第 79 回日本内分泌学会学術総会 (神戸, 2006 年 5 月 19 日)
4. 内木康博, 磯島豪, 堀川玲子. 骨形成不全症に対するパミドロネートの治療成績. 第 79 回日本内分泌学会学術総会 (神戸, 2006 年 5 月 19 日)
5. Katsumata N, Horikawa R, Ogata T, Tanaka T. Two Novel Mutations in the Steroidogenic Factor 1 (SF1) Gene Causing XY Sex Reversal without Adrenal Insufficiency. The Endocrine Society's 88th annual meeting (Boston, 2006 June 24)
6. Isojima T, Hosokawa S, Naiki Y, Horikawa R. Beckwith-Wiedemann Syndrome (BWS) with Transient Hypercortisolism Caused by Three Adrenal Glands. The Endocrine Society's 88th annual meeting (Boston, 2006 June 24)
7. Horikawa R, Isojima T, Naiki Y, Tanaka T. Clinical Usefulness of GH-Releasing Peptide (GHRP) Test for the Diagnosis of GHD in Children with Short Stature. The Endocrine Society's 88th annual meeting (Boston, 2006 June 25)
8. 鏡雅代, 山澤一樹, 鬼形和道, 田中敏章, 堀川玲子, 緒方勤. シルバーラッセル症候群および子宮内発育遅延患者 51 例における第 7 染色体と第 11 染色体のメチル化パターン解析: インプリンティング異常症患者 10 例の同定. 10 回小児分子内分泌研究会 (広島, 2006 年 7 月 8 日)
9. 綾部匡之, 阿部清美, 曾根田瞬, 藤本陽子, 磯島豪, 内木康博, 堀川玲子. コントロール困難な CYP21A2 欠損症の 1 例. 第 40 回日本小児内分泌学会学術集会 (浜松, 2006 年 9 月 28 日)
10. 鏡雅代, 山澤一樹, 鬼形和道, 堀川玲子, 緒方勤. シルバーラッセル症候群および子宮内発育遅延患者における第 7 番染色体、第 11 番染色体のメチル化パターン解析. 第 40 回日本小児内分泌学会学術集会 (浜松, 2006 年 9 月 28 日)
11. 田中敏章, 内木康博, 堀川玲子. ターナー症候群におけるエストロゲン補充療法. 第 40 回日本小児内分泌学会学術集会 (浜松, 2006 年 9 月 29 日)
12. 堀川玲子, 内木康博, 田中敏章. 小児癌経験者の晩期障害フォローアップ. 第 40 回日本小児内分泌学会学術集会 (浜松, 2006 年 9 月 29 日)
13. 本間桂子, 緒方勤, 深見真紀, 堀川玲子, 堀尚明, 武田良淳, 大橋十也, 藤原幾磨, 村田満, 長谷川奉延. 胎児~乳児期特異的 DHT 産生経路(backdoor pathway): POR 異常症における尿ステロイドプロファイル解析. 第 40 回日本小児内分泌学会学術集会 (浜松, 2006 年 9 月 29 日)
14. 勝又規行, 堀川玲子, 緒方勤, 田中敏章. 新規 SF1 変異(C55W, 395E)による副腎機能正常な 46,XY 女性の 2 例. 第 40 回日本小児内分泌学会学術集会 (浜松, 2006 年 9 月 29 日)
15. 位田忍, 堀川玲子, 松本富美, 上岡克彦, 緒方勤, 島田憲次. 外性器異常を有する児にどう対応するか - メディアを利用した迅速広域 gender assignment conference の試み. 第 40 回日本小児内分泌学会学術集会 (浜松, 2006 年 9 月 29 日)
16. 深見真紀, 本間桂子, 加藤芙美子, 堀川玲子, 永井敏郎, 田島敏広, 藤原幾磨, 安達昌功, 長谷川奉延, 緒方勤. POR 異常症 23 例における遺伝子型 - 表現型解析. 第 40 回日本小児内分泌学会学術集会 (浜松, 2006 年 9 月 29 日)
17. 阿部清美, 綾部匡之, 曾根田瞬, 磯島豪, 藤本陽子, 内木康博, 堀川玲子, 田中敏章. 続発性無月経から診断されたターナー症候群の 3 例. 第 40 回日本小児内分泌学会学術集会 (浜松, 2006

年9月29日)

18. 内木康博,堀川玲子,佐藤真理,田中敏章. 思春期男子における蛋白同化ホルモンの成長促進効果 第3報 . 第40回日本小児内分泌学会学術集会(浜松,2006年9月29日)
19. 磯島豪,藤本陽子,内木康博,堀川玲子. 中枢性尿崩症を合併した視床下部胚細胞腫3例の化学療法の経験と課題. 第40回日本小児内分泌学会学術集会(浜松,2006年9月29日)
20. 内木康博,綾部匡之,堀川玲子. ひきこもりと過食で耐糖能異常を来した男児2例. 第4回小児2型糖尿病研究会(東京 2006年10月8日)
21. 小児におけるGHRP2負荷試験. 堀川玲子,内木康博,磯島毅,藤本陽子,曾根田瞬,綾部匡之,田中敏章 第 回日本神経内分泌学会(横浜 2006年10月28日)
22. Horikawa R, Tanaka T. Diabetes Mellitus during growth hormone treatment in children born small for gestational age . The 3rd joint meeting of GRS and IGF society.(神戸 2006年11月11日~15日)
23. Horikawa R, Naiki Y, Tanaka T. Clinical Usefulness of GH-releasing peptide (GHRP) test in Children with Short Stature. The 3rd joint meeting of GRS and IGF society.(神戸 2006年11月11日~15日)
24. 田中敏章,内木康博,堀川玲子 ターナー症候群におけるエストロゲン補充療法による思春期の伸びの予測. 日本成長学会(東京2006年11月25日)
25. 山田亜紀,洲鎌盛一,内木康博,堀川玲子 ビスホスホネートが著効したウイリアムズ症候群に伴う高カルシウム血症の1例 関東甲信越内分泌学会(東京 2007年2月24日)
26. 綾部匡之,阿部清美,曾根田瞬,藤本陽子,磯島豪,内木康博,堀川玲子. CBZ内服中止でコントロールの改善したCYP21A2異常症の1例. 第17回臨床内分泌Update(東京 2007年3月10日)
27. 曾根田瞬,綾部匡之,磯島豪,内木康博,堀川玲子. 難治性の低カルシウム血症を呈したAPECEDの1例. 第17回臨床内分泌Update(東京 2007年3月10日)
28. 吉原愛, 齋藤洋, 田辺晶代, 肥塚直美, 堀川玲子, 高野加寿恵 Holt-Oram症候群に合併した悪性褐色細胞腫の一例. 第17回臨床内分泌Update(東京 2007年3月10日)
29. 高良洋平, 榎田紀子, 仁科祐子, 代田翠, 高野幸路, 飯利太朗, 福本誠二, 堀川玲子, 藤田敏郎. 症例から学ぼう あなたなら 先天性副腎皮質過形成に難治性バセドウ病を合併し、治療に苦慮した一例. 第17回臨床内分泌Update(東京 2007年3月10日)

腎臓科

【原著論文】

1. Kamioka I, Nozu K, Fujita T, Kaito H, Tanaka R, Yoshiya K, Iijima K, Nakanishi K, Yoshikawa N, Matsuo M: Prognosis and pathological characteristics of 5 children with non-Shiga toxin mediated HUS. *Pediatr Int* 2007 ;**49**:196-201
2. Kaito H, Nozu K, Iijima K, Nakanishi K, Yoshiya, Kanda K, Przybyslaw Krol R, Yoshikawa N, Matsuo M: The effect of aldosterone blockade in patients with Alport syndrome. *Pediatr Nephrol* 2006;**21**:1824-1829
3. Sakaeda T, Iijima K, Nozu K, Nakamura T, Moriya Y, Nishikawa M, Wada A, Okamura N, Matsuo M, Okumura K : Prediction of systemic exposure to cyclosporine in Japanese pediatric patients. *J Hum Genet* 2006;**51**:969-976
4. Kitamura A, Tsukaguchi H, Iijima K, Araki J, Hattori M, Ikeda M, Honda M, Nozu K, Nakazato H, Yoshikawa N, Kagami S, Muramatsu M, Choi Y, Cheong HI, Doi T: Genetics and clinical features of 15 Asian families with steroid-resistant nephrotic syndrome. *Nephrol Dial*

- Transplant 2006;**21**:3133-3138
5. Fu X, Nozu K, Goji K, Ikeda K, Kamioka K, Fujita T, Kaito H, Nishio H, Iijima K, Matsuo M: Enamel-renal syndrome associated with hypokalemic metabolic alkalosis and impaired renal concentration: a novel syndrome? Nephrol Dial Transplant 2006 ;**21**: 2959-2962
 6. Inatomi J, Matsuoka K, Fujimaru R, Nakagawa A, Iijima K: Mechanisms of development and progression of cyanotic nephropathy. Pediatr Nephrol 2006;**21**: 1440-1445
 7. Obana M, Nakanishi K, Sako M, Yata N, Nozu K, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N: Segmental membranous glomerulonephritis in children: comparison with global membranous glomerulonephritis. Clin J Am Soc Nephrol 2006;**1**:723-729.
 8. Nozu K, Iijima K, Kamioka I, Fujita T, Yoshiya K, Tanaka R, Nakanishi K, Yoshikawa N, Matsuo M: High-dose mizoribine treatment for adolescents with systemic lupus nephritis. Pediatr Int 2006;**48**:152-157
 9. Yoshikawa N, Honda M, Iijima K, Awazu M, Hattori S, Nakanishi K, Ito H for the Japanese Pediatric IgA Nephropathy Treatment Study Group: Steroid treatment for severe childhood IgA nephropathy: a randomized controlled trial. Clin J Am Soc Nephrol 2006;**1**:511-517
 10. Okada M, Fujimaru R, Morimoto N, Satomura K, Kaku Y, Tsuzuki K, Nozu K, Okuyama T, Iijima K: EYA1 and SIX1 gene mutations in Japanese patients with branchio-oto-renal (BOR) syndrome and related conditions. Pediatr Nephrol 2006;**21**:475-481

【総説】

1. 野津寛大, 松尾雅文, 飯島一誠: Gitelman症候群の最近の知見. 日本小児腎臓病学会雑誌 2007;**20**:21-25.
2. 飯島一誠: 【ネフローゼの治療最前線】 頻回再発型/ステロイド依存性ネフローゼ症候群の薬物療法. 小児科 2007;**48**:153-159.
3. 亀井宏一, 飯島一誠: 腎機能検査. 小児科 2007 ; **48**:337-342.
4. 野津寛大, 松尾雅文, 飯島一誠: 【腎・泌尿器疾患領域における遺伝子解析】 Bartter症候群. 腎と透析 2006;**61**:835-840.
5. 飯島一誠: 【小児の治療指針】 腎・尿路 ステロイド感受性ネフローゼ症候群. 小児科診療 2006;**69**:705-710.
6. 飯島一誠: 【内科疾患最新の治療 専門家からのアドバイス】 腎臓 Alport症候群. 内科 2006;**97**:1098-1099.
8. 飯島一誠: 【腎をまもる私の処方 腎保護薬】 学校検尿で蛋白尿を指摘された7歳男児 腎をまもる私の処方(その2). 腎と透析 2006;**61**:164.
9. 飯島一誠: 【小児の薬物療法とTDM】 免疫抑制薬 小児ネフローゼ症候群における免疫抑制薬の使い方について教えてください. 薬局 2006;**57**:211-215.
10. 飯島一誠: 【腎・泌尿器疾患領域における遺伝子解析】 BOR症候群. 腎と透析 2006;**61**:867-870.
11. 田中潔, 本名敏郎, 飯島一誠: 【短腸症候群の治療をめぐる】 在宅静脈栄養管理中のカテーテル感染と腎炎. 小児外科 2006;**38**:1080-5.
12. 亀井宏一, 飯島一誠: 【内科疾患最新の治療 専門家からのアドバイス】 腎臓 Fabry病. 内科 2006;**97**:1100-1101.
13. 亀井宏一, 飯島一誠: 【小児に対する移植医療の進歩】 Preemptive腎移植とはなんですか? 小児内科 2006;**38**:2111-2114.

【著書】

1. 稲富淳, 飯島一誠 : 御手洗哲也, 東原英二, 秋澤忠男, 五十嵐隆, 金井好克編,【III. 腎炎・ネフローゼ】Cyanotic nephropathy, Annual Review 腎臓 2006, 東京, 中外医学社, 2006 ; 86-88
2. 塚口裕康, 飯島一誠 : 御手洗哲也, 東原英二, 秋澤忠男, 五十嵐隆, 金井好克編,【III. 腎炎・ネフローゼ】一過性ネフローゼ症候群発症の分子病態, Annual Review 腎臓 2006, 東京, 中外医学社, 2006 ; 74-80
3. 野津寛大, 松尾雅文, 飯島一誠 : 御手洗哲也, 東原英二, 秋澤忠男, 五十嵐隆, 金井好克編,【IX. 小児領域】Bartter症候群の表現型・遺伝子型の相関, Annual Review 腎臓 2006, 東京, 中外医学社, 2006; 180-189
4. 亀井宏一: 免疫複合体. 小児臨床検査ガイド, 文光堂, 2006; 489-493.

【報告書、その他】

1. 飯島一誠: 厚生労働科学研究費補助金(小児疾患臨床研究事業)「小児腎移植におけるミコフェノール酸モフェチルの有効性・安全性の確認、用法・用量の検討・確立に関する研究」主任研究者: 飯島一誠 平成18年度研究報告書(総括研究報告書), 2007 ; 1-9
2. 飯島一誠: 厚生労働科学研究費補助金(臨床研究基盤整備推進研究事業(若手医師・協力者活用に要する研究))「小児腎移植におけるミコフェノール酸モフェチルの有効性・安全性の確認、用法・用量の検討・確立に関する研究(若手医師・協力者活用に要する研究)」主任研究者: 飯島一誠 平成18年度研究報告書(総括研究報告書), 2007 ; 1-11
3. 飯島一誠, 河本 博: データマネジメント・セントラルモニタリング体制整備, 厚生労働科学研究費補助金(臨床研究基盤整備推進研究事業)「小児臨床研究実施・支援・審査体制整備についての研究」主任研究者 中村秀文 平成18年度研究報告書(分担研究報告書), 2007 ; 333-341
4. 飯島一誠: 先天性腎疾患の診断、治療、管理システム構築に関する研究 医学医療知識共有化システムの構築, 厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)「小児難治性腎尿路疾患の早期発見、診断、管理・治療に関する研究」主任研究者 五十嵐隆 平成18年度研究報告書(分担研究報告書), 2007 ; 66-72
5. 飯島一誠: 小児難治性腎疾患病態関連および治療標的分子の同定, 成育医療委託研究事業「小児難治性疾患に対する薬物治療新規標的分子の探索とその機能解析」主任研究者 田上昭人, 2007

【学会発表】

1. Nakayama M, Otsuka Y, Kamei K, Suzuki T, Kitamura A, Tsukaguchi H, Nozu K, Matsuoka K, Okuyama T, Iijima K: Novel PKHD1 gene mutations identified with haplotype analysis and direct sequencing. Korea-Japan The 4th Pediatric Nephrology Seminar 2006, Seoul, 2006.4.8
2. Iijima K: School Urinalysis Screening in Japan. China-Japan-Korea School Urinalysis Screening Symposium, Shanghai, 2006.9.2
3. Kamei K, Iijima K, Nakayama M, Matsuoka K, Nakagawa A: Chronic Glomerulonephritis Associated with IgG Subclass Deficiency. American Society of Nephrology 2006 Annual Meeting, Philadelphia, 2006.11.17
4. Kaito H, N.K., Kanda K, Przybyslaw KR, Nakanishi K, Yoshiya K, Iijima K, Yoshikawa N, Matsuo M: The Effect of Aldosterone Blockade in Patients with Alport Syndrome. American Society of Nephrology 2006 Annual Meeting, Philadelphia, 2006.11.17
5. Obana M, N.K., Togawa H, Sako M, Shima Y, Nozu K, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N: C-509T

- and T869C Polymorphisms in TGF- 1 Gene and Proteinuria in Childhood IgA Nephropathy. American Society of Nephrology 2006 Annual Meeting, Philadelphia, 2006.11.17
6. Nozu K, F.X., Kaito H, Kanda K, Kamitsuji H, Yoshiya K, Nakanishi K, Yoshikawa N, Iijima K, Matsuo M. American Society of Nephrology 2006 Annual Meeting, Philadelphia, 2006.11.17
 7. Kamei K, Iijima K: Chronic glomerulonephritis associated with igG subclass deficiency. 2nd Congress of Asian Society for Pediatric Research, Yokohama, 2006.12.9
 8. 亀井宏一, 飯島一誠, 池田昌弘, 本田雅敬: 日本人乳児におけるスポット尿の尿蛋白/クレアチニン比についての検討. 第110回日本小児科学会, 金沢, 2006.4.21
 9. 貝藤裕史 野津寛大, 藤田晃生, 神岡一郎, 濱平陽史, 中西浩一, 田中亮二郎, 飯島一誠, 吉川徳茂, 松尾雅文: Alport症候群に対する抗アルドステロン薬の効果についての検討. 第110回日本小児科学会, 金沢, 2006.4.21
 10. 亀井宏一, 中山真紀子, 大塚泰史, 鈴木輝明, 飯島一誠, 田中敏章: 日本人小児における血清シスタチンCの基準値と、腎機能マーカーとしての有用性について. 第49回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2006.6.14
 11. 尾鼻美奈, 中西浩一, 佐古まゆみ, 野津寛大, 田中亮二郎, 飯島一誠, 吉川徳茂: 小児 IgA 腎症における Transforming Growth Factor (TGF) 1 遺伝子型 (C-509T, 7869C) の関与. 第49回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2006.6.15
 12. 神岡一郎, 野津寛大, 貝藤裕史, 藤田晃生, 吉矢邦彦, 里村憲一, 田中亮二郎, 飯島一誠, 中西浩一, 吉川徳茂, 松尾雅文: 全国調査における典型的HUSの重症化因子の検討. 第49回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2006.6.15
 13. 野津寛大, 吉矢邦彦, 神岡一郎, 藤田輝生, 貝藤裕史, 付学軍, 松尾雅文, 飯島一誠: 尿中落下細胞の解析によりExon skippingを証明できたGitelman症候群の1例. 第41回日本小児腎臓病学会, 名古屋, 2006.6.22
 14. 藤田晃生, 貝藤裕史, 野津寛大, 中西浩一, 田中亮二郎, 飯島一誠, 吉矢邦彦, 松尾雅文, 神岡一郎, 吉川徳茂: Type II MPGNの1亜型である, Juvenile Acute Non-proliferative Glomerulitis(JANG)の1例. 第41回日本小児腎臓病学会, 名古屋, 2006.6.22
 15. 中山真紀子, 中川温子, 大塚泰史, 飯島一誠, 松岡健太郎, 亀井宏一, 鈴木輝明: 腎移植後急性拒絶反応においてB細胞優位なリンパ球浸潤を認め, 血漿交換が有効であった一例. 第41回日本小児腎臓病学会, 名古屋, 2006.6.22
 16. 大塚泰史, 塚口裕康, 飯島一誠, Choi Jung, Youn, ParkYong, Hoon, KimYong, Jin: ハプロタイプ解析にて新たな病因遺伝子が疑われた Senior-Loken syndrome の一家系. 第41回日本小児腎臓病学会, 名古屋, 2006.6.22
 17. 亀井宏一, 飯島一誠, 中山真紀子, 大塚泰史, 鈴木輝明: 日本人小児における血清シスタチンCの基準値と、腎機能マーカーとしての有用性について. 第41回日本小児腎臓病学会, 名古屋, 2006.6.22
 18. 亀井宏一, 鈴木輝明, 大塚泰史, 小林信一, 松岡健太郎, 中山真紀子, 中川温子, 飯島一誠: 慢性糸球体腎炎を合併した IgG サブクラス欠損症の2例. 第41回日本小児腎臓病学会, 名古屋, 2006.6.22
 19. 貝藤裕史, 田中亮二郎, 藤田晃生, 吉矢邦彦, 飯島一誠, 吉川徳茂, 野津寛大, 松尾雅文, 神岡一郎, 中西浩一: Alport 症候群に対する抗アルドステロン薬の効果についての検討. 第41回日本小児腎臓病学会, 名古屋, 2006.6.22
 20. 野津寛大, 吉矢邦彦, 神岡一郎, 藤田輝生, 貝藤裕史, 付学軍, 松尾雅文, 飯島一誠: 尿中落下細胞の解析により Exon skipping を証明できた Gitelman 症候群の1例. 第41回日本小児腎臓病学会, 名古屋, 2006.6.22

21. 飯島一誠, 塚口裕康: 自然寛解を繰り返すネフローゼ兄妹例のNPHS1 変異とネフローゼ病因遺伝子研究の今後の課題. 第7回東京腎炎・ネフローゼ研究会, 東京, 2006.7.15
22. 笠原克明, 寺町昌史, 中山真紀子, 大塚泰史, 亀井宏一, 鈴木輝明, 飯島一誠, 松岡健太郎, 中川温子, 長田道夫: 蛋白尿及び腎機能障害で発症し、膜性腎症様の免疫沈着を伴った巣状分節性糸球体硬化症のVUR 男児の一例. 第7回東京腎炎・ネフローゼ研究会, 東京, 2006.7.15
23. 飯島一誠: 【特別講演】小児頻回再発型ネフローゼ症候群のシクロスポリン治療研究と治療ガイドライン, 玄海腎フォ-ラム, 博多, 2006.7.29
24. 亀井宏一, 笠原克明, 寺町昌史, 中山真紀子, 大塚泰史, 鈴木輝明, 飯島一誠, 松岡健太郎, 中川温子, 長田道夫: 蛋白尿及び腎機能障害で発症し、膜性腎症様の免疫沈着を伴った巣状分節性糸球体硬化症のVUR 男児の1例. 第28回日本小児腎不全学会, 大津, 2006.9.21
25. 飯島一誠: 【教育講演】0157 によるHUSの治療と予防, 第36回日本腎臓学会東部学術大会, 横浜, 2006.11.4
26. 飯島一誠: 【特別講演】ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の疾患遺伝子マッピング, 徳島大学Nephrology Seminar, 徳島, 2006.12.21

神経内科

[原著]

1. Nagasawa T, Kimura I, Abe U, Oka A. HHV-6 encephalopathy with clusters of convulsions during eruptive stage. *Pediatr Neurol* 2007 ; 33 : 98-104.
2. Nanba Y, Matsui K, Aida N, Sato Y, Toyoshima K, Kawataki M, Hoshino R, Ohyama M, Itani Y, Goto A, Saito, Y, Oka A. Detection of T1 hyperintensity in region of the corona radiata connecting with posterior limb of the internal capsule on magnetic resonance imaging at near term is sensitive in predicting gross motor problems in premature infants *Pediatrics* 2007 ; 120 : e10-19
3. Okoshi Y, Mizuguchi M, Itoh M, Oka A, Takashima S. Altered nestin expression in the cerebrum with periventricular leukomalacia. *Pediatr Neurol* 2007 ; 36 : 70-174
4. 長澤哲郎, 木村育美, 阿部裕一, 岡 明. 急性期に脳血流像増加が認められたけいれん群発型ヒトヘルペスウイルス6型(HHV-6)の1例. *脳と発達* 2006;38:295-298

[総説]

1. 岡 明: 急性小児片麻痺 小児内科 2006 ; 38 : 684-685
2. 岡 明: 立ちくらみ・めまい 小児科診療 2007 ; 70Suppl : 42-44

[著書]

1. 水口雅, 岡 明: 第15章 神経疾患. (飯沼一字, 有阪治, 竹村司, 渡辺博) 小児科学・新生児学テキスト, 診断と治療社, 2007 ; 558-15
2. 岡 明: MRIについて, 教えてください. (五十嵐隆), これだけは知っておきたい小児ケアQ&A, 総合医学社, 2007 ; 102-103
3. 岡 明: 重症筋無力症. (五十嵐隆), 小児科診療ガイドライン, 総合医学社, 2007 ; 194-196
4. 岡 明: 腰椎穿刺. (河野陽一), 保護者に伝えたいこどもの病気・検査のポイント, 2007 ; 136-137

[報告書、その他]

1. 岡 明, 難波由喜子: 発達期大脳白質障害の神経学的評価・療育に関する研究 平成17年度厚生労働省精神・神経疾患委託研究費「発達期に発症する外因性脳障害の診断・治療ガイドラインに関する臨床的実証研究」, 平成17年度研究報告書, 2006;32-34

[学会発表] (国際学会、国内学会の順に)

1. Nagasawa T, Mizuguchi K, Abe Y, Oka A: HHV-6 encephalopathy with cluster of convulsions in eruptive stage: A new subtype. 9th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology (Cebu, Philippine.) 2007.1.25.
2. 阿部裕一, 荻野寛子, 木村育美, 長澤哲郎, 阪井裕一, 岡 明: E毒素産生Clostridium butyricumによる乳児ボツリヌス症の1例. 第109回日本小児科学会学会学術集会, 石川, 2006.4.21
3. 長澤哲郎, 阿部裕一, 木村育美, 岡 明, 師田信人: 痙性麻痺における下肢H波反射曲線: 機能的脊髄後根切断術前検査として. 第48回日本小児神経学会, 千葉, 2006.6.1
4. 阿部裕一, 木村育美, 長澤哲郎, 岡 明: WEST症候群治療についての検討. 第48回日本小児神経学会, 千葉, 2006.6.2
5. 難波由喜子, 岡 明, 井上岳彦, 大野耕策: 臍帯血サイトカインと脳室周囲白質軟化症発生についての研究, 第48回日本小児神経学会, 千葉, 2006.6.3
6. 宇野光昭, 阿部裕一, 長澤哲郎, 岡 明: 内頸動脈狭窄による脳梗塞を発症したProgressia幼児例. 第45回日本小児神経学会関東地方会, 東京, 2006.9.30
7. 長澤哲郎, 水口浩一, 阿部裕一, 岡 明: Vaccine-associated paralytic poliomyelitisが臨床的に疑われた1例. 第11回日本神経感染症学会学術集会, 伊勢 2006.10.14
8. 水口浩一, 阿部裕一, 長澤哲郎, 岡 明: 突発性発疹を契機に全身性の浮腫と意識障害、画像上特徴的な所見を認めた2歳幼児例. 第12回章に神経症例検討会 上山 2007.2.17.